



みんなであえあい

楽しみました

「よこしばふれあいまつり」に250人

からお年寄りまで、三世代がふれあいの中で交流を深めていた。だこうと9月3日、町が開いたものです。

会場となったふれあい坂田池公園には、早朝から親子連れやお年寄りが集まり待遠しいようす。

開会式の席上實川堅司郎町長は「老いも若きも、きょう一日充分楽しんでください」とあいさつ。

競技は子ども、父兄そしてお年寄りの混合チームをつくり、笑顔と楽しい会話が飛び交うなかで進められました。

また、待ち時間を利用してのカヌー体験(海洋クラブの協力)や子どもたちが自ら行った「やさそば・ポップコーン・かき水」の模擬店には、参加者が大勢集まり大繁盛。「おじいちゃん、おばあちゃん、やさそばどうですか。ポップコーン食べませんか。かき水はいかがですか。」の呼び声が会場内に響いていました。

みんなであえ合い楽しんでまつりに、参加者も満足したようすでした。

この祭の開催にあたり、郵便局簡易保険加入者の会より、参加賞などのご援助をいただきました。ありがとうございました。



「ステイックはこう持とうね」
「ゴールまで遠いから少し強く打った方がいいね」
これは「よこしばふれあいまつり」のグラウンドゴルフ大会でのひとコマ。
このまつりは、「高齢者の生きがいと健康づくり事業」の一環として、子ども



長寿を祝う

70歳以上に記念品

町では、9月15日の「敬老の日」を前に、70歳以上のお年寄りの長寿を祝って記念品を贈りました。

9月8日に養護老人ホーム「坂田苑」を訪問した實川町長は、「坂田苑は、自然環境に恵まれた近代的な素晴らしい施設です。いつまでも健康で長生きしてください」と食堂に集まったお年寄りのみなさんを激励。植松所長が一人一人名前を紹介したあと代表者に記念品を手渡し敬老を祝いました。

